

感染症対策運営要領

北丹陸上競技協会では、公益財団法人日本スポーツ協会「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び公益財団法人日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイダンス」に沿った新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアルを策定しています。この記録会はこのマニュアルを遵守し実施します。

<基本事項>

- 1 感染拡大防止のため、「フィジカルディスタンスの確保」及び「大きな声での会話や応援、集団での応援を禁止」し、競技場内では誰もがこのルールを徹底するとともに、**観戦者の入場を認めない。**
(無観客開催とする)
- 2 ワクチン接種の有無にかかわらず、3つの基本的な感染症対策（①正しいマスクの着用、②こまめな手洗い、③手指消毒）を徹底する。
- 3 炎天下（気温31度以上の環境）の場合は、マスクを着用はせず「三つの密」回避、フィジカルディスタンスの確保等の感染症予防対策を徹底する。ただし、諸室等の空調の効いた密閉空間ではマスクを着用する。
- 4 競技場内への入場は、入場時にIDカードの提示を求める。

<競技外の対策>

- 1 定期的に（1時間ごと）トイレやドアノブなどの消毒をする。

<競技者・競技役員への周知事項>

- 1 体調不良の場合は参加を辞退すること。
- 2 当日受付時には、体調管理チェックシートを提出すること。
- 3 競技者は、マスク、タオル、衣類入れのビニール袋を持参し、常に、手指消毒、手洗い、運動後の洗顔を励行すること。またゴミは、各自持ち帰ること。
- 4 招集、記録発表は、当日の指示やプログラム、掲示、WEBなどで確認すること。
- 5 競技会終了後は速やかに退場するとともに、事後のミーティングは自粛するよう要請する。

<帰宅後の注意>

- 1 2週間以内は検温を実施し、発熱や体調に異常があれば下記に連絡すること。

北丹陸上競技協会（感染症対策室） 高橋尚義 090-4497-5422

<競技場内への出入りについて>

選手・監督等支援者の入場口は、メインスタンド東側（B）と西側（D）、退場口は東側（A）と西側（C）とし、競技役員は、メインスタンド東側（B）から入場し、西側（C）から退場する。また、競技場西側スロープ入口ゲート（E）は選手・監督等支援者・競技役員共通して入退場可能なゲートとするが、その入退場口は、中央にコーンを配置し入場口と退場口を分ける。競技場東側スロープ入口ゲート（F）は救急対応時のみの入退場口として使用する。

